



# 1/27(火) 14:00-16:30 (受付開始13:30)

@ +519worklodge (上田市下之郷812番地10 上田リサーチパーク内)

## 寛容と挑戦 — 女性や若い世代が”ここにいたい”と思える職場とは

※プログラムの内容は予告なく変更する場合があります。

長野県の未来を考え、行動につなげるために県内各地で展開してきた「県民会議キャラバン」もいよいよ第10弾となりました。本年度最後の開催は上田地域です！

人口減少が進むこれから社会で、地域が持続的に成長していくためには、多様な価値観を認め合い、一人ひとりが安心して挑戦できる「寛容な環境」が欠かせません。そこで今回は「組織はどうすれば挑戦しやすい環境をつくれるのか」をテーマに、対話を通じて考え、明日からの行動につながる”私たちのアクション”を一緒に見つけてみませんか？

### オープニング

### 信州未来共創戦略と県民会議とは

県民会議がどうして生まれたのか、戦略では何を目指しているのかを紹介します。

### インスピレーショントーク

ファシリテーターの金 久美さんが聞き手となり、実践者である3名の登壇者からそれぞれの活動についてお話を伺います。

### グループディスカッション

魅力ある職場づくりを起点に、挑戦しやすい環境・寛容な考え方を地域にどのように広げていくかを考えます。

**申込方法** 定員30名程度 お申込みはお早めに！

右の二次元コードからフォームに必要事項を記入のうえ

お申込みください。申込締切：令和8年1月23日(金)19:00まで



### 運営事務局

株式会社共立プランニング

お問い合わせ:kenminkaigi@kyoritz-p.co.jp

### 主催

私のアクション！

未来のNAGANO創造県民会議

公式note▼



# ゲストスピーカー＆ファシリテーター

※敬称略

こだま みつし

児玉 光史

株式会社地元カンパニー 代表取締役

社長の「正論」で会社を去った70人～：

若者が「逃げ場」を持てる、組織の寛容性とは

長野県上田市のアスパラ農家に生まれる。東京大学農学部を卒業(在学中には東京六大学野球でホームラン王を獲得)。株式会社電通総研にてシステムコンサルタントとして活躍。退職後、都内での実家のアスパラの販売や、自身の結婚式の引き出物として「地域産品のカタログギフト」を開発した経験をもとに、地域産品の新たな流通を創出するため、2012年に株式会社地元カンパニーを設立。



とりい のぞみ 株式会社バリューブックス(B Corp™) 代表取締役／  
鳥居 希 一般社団法人B Market Builder Japan 共同代表

組織の「ものさし」を問い合わせ直す：

B Corp経営が実現する、女性と若者が勇気を持てる寛容な職場

2015年にバリューブックス(長野県上田市)に入社(取締役)し、2024年7月に代表取締役に就任。同社でB Corp™認証の取得を主導し、2024年10月に取得を実現。この取り組みの中で、2022年6月には『B Corpハンドブック』を翻訳出版。2024年3月にはB Labの公式パートナーであるB Market Builder Japanを共同設立・共同代表として牽引。また、ジェンダーギャップ解消にも取り組んでいる。



おかだ もとゆき 一般財団法人 浅間リサーチエクステンションセンター(AREC)  
岡田 基幸 専務理事・センター長

寛容な土壤のつくり方：

世代と分野の「壁」を越える、上田発ローカルイノベーション

上田市の産業振興に携わり26年目。支援領域は、产学連携、企業連携、採用/育成/定着、女性の創業/伴走、大学発ベンチャー、商店街・地域スポーツ、観光・UIJターン・移住、次世代農業、その他多岐に渡る。ARECで開催したイベント・セミナーは1,100回を超える。上田市の製造品出荷額は3,700億円(2009年)の1.6倍の6,000億円超を初めて達成。3年前から、コワーキング/研修/宿泊施設(+519worklodge)を運営。信州大学特任教授(产学官地域連携)工学博士。



きむ くみ <ファシリテーター>  
金 久美 株式会社ワークワークワーク 代表取締役

愛知県名古屋市出身、上田市在住。御代田町でコワーキング&カフェ「Gokalab(ゴカラボ)」を運営。「はたらくが広がる研究所」をコンセプトに、多様な人が関わり、挑戦が生まれる場づくりを実践しながら、コミュニティや地域の寛容性について探究している。

